

村山雨景 出張 美術館

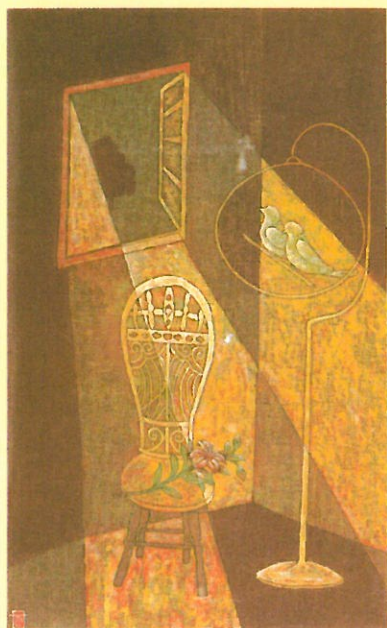
入場無料

～ニイガタを代表する染色作家の多種にわたる作品の数々～



村山雨景は1996年に長岡市緑町に「街のちっちゃな美術館」を、そして2000年には同市内、三ツ郷屋地区に「村山雨景染め絵館」をオープンさせ、過去57年間、半世紀にわたり大小1300点もの作品を創り続けて参りました。今回の出張美術館では、選りすぐりの約40点を展示販売致します。雨景作品は全て原画の一点物です、全国でも珍しい雨景染め絵の世界をお楽しみ頂けたら幸いです。

染色作家・画家 村山雨景



1991年 ローテンブルグ 月光
(雨景ロウ染め)



2018年 朱翠園 (藤棚と秋の庭園)
北方文化博物館 訪問着



2020年 菜の花畑
福島潟 タペストリー

会期：2020年9月4日(金)～6日(日)

会場：アオーレ長岡 1Fホワイエ

時間：午前10時～午後6時

初日9/4のみ午後1時開場

最終日9/6のみ午後3時終了

※ 額絵・バストリー・キモノ等、約40点を展示発表致します。



1998年 シルクロード 万里への道

村山雨景 略歴

- 1947年 キモノの街新潟県十日町市に生まれる。
- 1968年 雨景15歳より父母の手織・染色を修業、20歳の頃京都へ。日本画と手描き本友禅及び手描きロウケツ染めを修得。
- 1976年 第18回美匠展初入選以後6回出品奨励賞、特別賞受賞。
- 1983年 東京、染色芸術展 金賞受賞。受賞作「うつぎへの想い」
- 1990年 ドイツ、ミュンヘンにて個展。
後オーストリア、ウィーンまでのロマンチック街道を取材。
- 1994年 BSNテレビ良寛をテーマとした「村山雨景の世界」を特別放映。
- 1995年 創作30周年記念キモノファッションショーを新潟日報社主催で新潟フェイスにて開催、本格的なショーとなる。
- 1996年 中国、シルクロード敦煌から楼蘭までのタクラマカン砂漠を取材。
- 2007年 東京池袋、東京芸術劇場にて「越後の染色芸術展」を開催。
- 2008年 NHK「アットヒューマン」スタジオにて制作工程を披露、雨景生出演。
創作45周年記念作品、創作着物「雪の華」を歌手小林幸子さんへ贈呈。
- 2009年 新潟日報、朝刊「窓」欄の挿絵を1年間担当する。
- 2017年 夢のふるさと展を十日町市にて開催、同時に母校十日町中学校へ大作 染額「早春の学び舎」を同級生らと寄贈。
- 2018年 長岡美術センターにて創作55周年記念展「巨大美の世界」を発表する。
- 2020年 東京五輪の市松模様をモチーフにした創作キモノ「うつぎへの想い」を歌手小林幸子さんへ特別寄贈。
秋田から岡山 倉敷までの約170ヶ所にて、本州巡回展を続行中。

お問い合わせ先 越後友禅会

長岡市希望ヶ丘1-504-24 TEL・FAX (0258) 29-6391